

# 予算審査特別委員会報告書

予算特別審査委員長 青山春男  
当委員会における審査での意見、質疑等の内容について、主なものを報告いたします。

意をもって祝いを贈呈するため、今回の形を判断した。

**一般会計予算について**  
**質疑** 自治振興費の集落活性化交付金の周知方法や限度額について

**応答** 集落活性化のために多目的に使えるよう内容を見直し、区長会等でも周知を図った結果、事業効果も現れてきた。今後も集落独自のアイデアに応じ、件数によっては補正対応も考えていく。

**質疑** 公共施設等総合計画事業について

**応答** 全ての公共施設について取り壊した方がいいのか維持した方がいいかを検討し、計画を立て、事業を進めていく。

**質疑** 条件不利性改善事業の農林水産物輸送コスト支援事業助成金において農産物は活用されていない現状について

**応答** 使い勝手の悪い制度を見直し、実情に合った使い勝手のいい制度に改善できるように引き続き国県に働きかけていく。



鹿児島アミユ広場での喜界島物産店

**質疑** アンテナショップ事業推進協議会補助金について

**応答** 講師を招いて講習会等も積極的に行っており、「シマ」を売り込むための戦術を学習している。喜界島の全体的な総合的なホームページの作成を進めている。

**質疑** 農業後継者育成事業交付金については、事業実施から年数が経つが、農家として定着した実績や成果について

**応答** 選考基準を設け、就農の条件、土地確保の見込み等事前に審査を行い、次第に定着しつつあり、成果が出ている。

**質疑** イベント支援補助金の効果について

**応答** 継続費として計上された教育費の給食センター事業費について

**質疑** 補助率の低さがネックとなっていたが、防災関係事業として計画を立て直すことで、若干事業の進捗は遅れるが、補助率のアップと併せ必要な避難施設も確保できる。

**特別会計予算について**  
(審査における意見・要望)

**国民健康保険特別会計予算は、法定外繰入金や共同事業拠出金への負担の影響が懸念されますが、財源確保を図りながら医療の適正化と医療費の抑制に努めていただきたい。直営診療所については、かかりつけ医としての役割**

**国民健康保険特別会計予算は、法定外繰入金や共同事業拠出金への負担の影響が懸念されますが、財源確保を図りながら医療の適正化と医療費の抑制に努めていただきたい。直営診療所については、かかりつけ医としての役割**

**継続費として計上された教育費の給食センター事業費について**

**補助率の低さがネックとなっていたが、防災関係事業として計画を立て直すことで、若干事業の進捗は遅れるが、補助率のアップと併せ必要な避難施設も確保できる。**

**特別会計予算について**  
(審査における意見・要望)

**国民健康保険特別会計予算は、法定外繰入金や共同事業拠出金への負担の影響が懸念されますが、財源確保を図りながら医療の適正化と医療費の抑制に努めていただきたい。直営診療所については、かかりつけ医としての役割**

**国民健康保険特別会計予算は、法定外繰入金や共同事業拠出金への負担の影響が懸念されますが、財源確保を図りながら医療の適正化と医療費の抑制に努めていただきたい。直営診療所については、かかりつけ医としての役割**

**国民健康保険特別会計予算は、法定外繰入金や共同事業拠出金への負担の影響が懸念されますが、財源確保を図りながら医療の適正化と医療費の抑制に努めていただきたい。直営診療所については、かかりつけ医としての役割**

**国民健康保険特別会計予算は、法定外繰入金や共同事業拠出金への負担の影響が懸念されますが、財源確保を図りながら医療の適正化と医療費の抑制に努めていただきたい。直営診療所については、かかりつけ医としての役割**

**国民健康保険特別会計予算は、法定外繰入金や共同事業拠出金への負担の影響が懸念されますが、財源確保を図りながら医療の適正化と医療費の抑制に努めていただきたい。直営診療所については、かかりつけ医としての役割**

等町民の求める多種多様なニーズを考慮しながら更なる診療体制の充実を望む。

簡易水道事業特別会計予算については、諸事情により大規模予算を余儀なくされ、なおかつ早期の事業執行を求められているところで、上水道事業への移行により、今後の事業展開に課題もあるようですが、安全な水の安定供給という命題に邁進していただきたい。最後に、限られた財源の元で選択と集中を進め、従来の事業に対し新たな視点を向けて事業効果を高めるとともに入学祝い金制度等新たな子育て支援策等の新規事業の導入によって一層メリハリのある施策の展開に期待する。

以上で審査を終了し、議案第1号、平成二十七年喜界町一般会計予算から議案九号、平成二十七年喜界町公共下水道事業特別会計予算までについては、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。



審査する予算審査特別委員会

# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

総務文教常任委員長  
外内千里 議員

**議案第十号町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例**

平成十六年四月より十%を削減している、町長、副町長、教育長の給与削減を平成二十八年三月まで継続する。継続の理由について質疑に、いま尚財政の見通しが不透明であること、近隣市町村の動向も勘案しての継続との答弁。

**議案第十一号喜界町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**

主に人事院勧告によるもので、管理職員特別勤務手当支給対象職員の支給条項の改正、四月より人事院勧告により二%削減されるが昇格昇給しない者は削減の猶予期間を、平成三十年三月三十一日までとする。

**議案第十二号喜界町課設置条例の一部を改正する条例**

組織機構の変更ではなく、喜界島に合ったソフト的な観光誘致を目指す観光の位置づけを明確にすること。農業立町を謳っている本町を町民に合理的に理解しやすい名称とするため、企画課を企画観光課へ、産業振興課を農業

振興課に改める。

**議案第十三号報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例**

新たに総合戦略策定推進有識者委員の月額、喜界町地域おこし協力隊の月額、喜界町奨学資金付与生選考委員月額を定める。質疑として、総合戦略策定推進有識者委員の役目と人員数について、進ちよく状況と今後の進め方の質疑に、有識者委員は十名予定しており、二十七年四月より地方創生の策定を行う。役場内の対応については、二月に役場の補佐級のメンバーによる幹事会を開催、その後課長級による策定委員会、係長クラスのワーキンググループで具体的内容を検討する。景観策定委員のメンバー構成と人員数についての質疑に、十五名以内とし各種団体の構成メンバーより選定していただく、景観についての関係機関である建設・建築専門の関係者も予定している。

奨学資金貸与生選考委員のメンバーについての質疑に、副町長、教育委員、総務文教常任委員長との答弁。尚委員からの要望として、各種委員会のメンバー構成について形骸化が懸念される。実務に資する関係団体の人選にも配慮するよう要望有り。

**議案第十四号喜界町国民健康保険税条例の一部を改正する条例**

国民健康保険料の賦課限度額の見直しと、低所得者に係る国民健康保険料の軽減判定所得見直し。

**議案第十五号喜界町行政手続条例の一部を改正する条例について**

平成二十六年六月六日に「行政不服審査法関連三法」として成立した行政不服審査法の全面改正に伴い行政指導方式条項追加を行う。

**議案第十六号喜界町ふるさと寄付金条例の一部を改正する条例**

第一条で定めた事業区分の目的を達成するために第二条で、新たに町長が目的達成に必要と認める事業を加える。寄付金総額と指定寄付金についての質疑に、平成二十六年度末の見込み額は一千六百七十三万二千円余りで指定なしが七十六%余りを占め、環境保全、振興策、母子保健が各六%余りとなっているとの答弁。

**議案第十七号喜界町役場庁舎建設委員会設置条例を廃止する条例**

昭和六十三年度定められた条例が目的を達成したため廃止する。



審査する総務文教常任委員会

## 金支給条例の制定

小中学校入学時の家庭の負担軽減と児童生徒の健全育成を目的とし、当該年度の四月一日に住所を有する小中学校入学者の保護者に、入学祝金として、各々二万円を支給するもので、支給申請、支給方法を定めている。

**議案第十九号喜界町立幼稚園保育料徴収条例の全部を改正する条例**

昭和四十六年制定の「喜界町立幼稚園保育料徴収条例」の全部を改正する。

改正の主な内容は、保育料を三つの階層に分け、第一階層を支給認定子供の属する世帯が生活保護法の規定により保護を受けている家庭は月額ゼロ円、第二階層の市町村税が非課税である世帯は五百円、第三階層の市町村民税所得割が課税されている家庭は二千五百円とする。これまで徴収していた入園料は廃止する。また小学校三年以下の範囲において、最年長の子供から順に二人目は半額、三人目以降はゼロ円とする。

### ◆産業福祉委員会◆

産業福祉常任委員長  
安田 英次郎 議員

● 議案第二十号喜界町介護保険条例の一部を改正する条例  
第六期介護保険計画を定めるにあたり給付費の増額が見込まれるため、介護保険料の改定を行う。また、介護保険制度の改正により新たな介護予防・日常生活支援事業が導入されるが、その実施時期について猶予期間をもうける。

● 議案第二十一号喜界町指定介護予防支援等の事業の人員、運営等に関する基準を定める条例の制定  
第三次地方分権一活法の施行に伴い「指定介護予防支援等の事業の人員、

運営等」について、市町村が定めることとされたため条例を制定する。なお、保険者の介護給付費の過誤等にかかる返還請求の期限は、地方自治法上過去五年間となっていることから厚生労働省令基準の「記録の整備」条項の保存期間を二年間から五年間に変更する。

● 議案第二十二号喜界町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定  
第三次地方分権一活法の施行に伴い、「地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準」について市町村で定めることとされたため条例を制定する。

● 議案第二十三号喜界町長寿祝金に関する条例の制定  
喜界町敬老金支給条例を廃止し、新たに喜界町長寿祝い金条例を制定するものです。基準日は、九月一日、基準日前一年以上本町に住民票を有し居住していること。医療機関に三ヶ月以上入院している場合、居宅サービス以外の施設等に入所している場合は支給されない。支給額は、満八十五歳二万円、満九十歳三万円、満九十五歳五万円、満百歳以上は毎年十万円支給する。

■ 質疑 ■ 従来の記念品はあるか  
■ 答弁 ■ 今回からはありません  
■ 質疑 ■ 従来の敬老金支給額と長寿祝い金の支給額の差は

■ 答弁 ■ 差額は百五十万程度です。

● 議案第二十四号喜界町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例  
助成年齢を十八歳まで引き上げ、併せて条例名を「喜界町子ども医療費助成条例」に改める。これにより百五十万から二百万の増額になる。

● 議案第二十五号喜界町妊婦支援条例の一部を改正する条例  
妊婦世帯の経済的負担を軽減するため、宿泊費の助成を出産予定日の二十一日前から三十一日前へ拡大し医療機関を奄美市から鹿児島県内に拡大する。

● 議案第二十六号喜界町下水道条例の一部を改正する条例  
下水道法施行例に規定する特定事業所からの下水の排除の制限に係る水質の排水基準が改正された。それに伴い下水道条例と整合性を図るため、下水道条例に規定する水質適合のための除外施設設置等のうち、カドミウム及びその化合物の排水基準を一リットルにつき〇・二ミリグラムから〇・〇三ミリグラムに改正する。

● 議案第二十七号喜界町浄化槽汚泥等前処理施設の設置及び管理に関する条例の制定  
浄化槽汚泥施設等を平成二十七年分から喜界町水質浄化センター内の前処理施設に投入し、下水道汚泥と併せて



審査する産業福祉常任委員会

### 町政のいろいろが聞きたい

## いっばん質問

第一回定例会で四名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する  
青山 春男 議員

● 質問 営農支援センターの現状について

● 答弁 町長  
現在サトウキビの補植用一芽苗、パッションフルーツの苗、在来ミカンの苗を町内に提供しています。また、新規作物及び新品種（トマト、カボチャ、ブロッコリー、唐辛子、インゲン、ピーマン）の試験栽培及び市場評価調査を行うとともに、研修生の受入も行っていきます。新規就農者に対し農業の基礎技術から営農までの知識を習得させ、一人前の農家の育成を行っていきます。

● 質問 園芸振興の普及に繋がればと考えています。  
● 答弁 町長  
現状を維持しつつ、要望があればそれに応えられるよう努力し多くの人々が利用できるような施設として取り組んで参ります。  
また、有効的に活用して研修生の受入、新規就農者・農業後継者の育成にも取り組んで参ります。  
● 質問 営農支援センター及び園芸推進員による農家育成の成果について  
● 答弁 町長  
園芸推進員と産業振興課の園芸担当者ならびに園芸部会員が連携し、実際に農家の巡回指導を行っていますので、今後目に見える形で成果が現れるものと考えています。

● 質問 赤連共有地取得後跡地利用について  
● 答弁 産業振興課課長  
跡地については、百八十三株の内、当時のセリ市場建設で購入したところ百四十三株で残り四十株は二十八人の持ち分でしたが、当時A氏が、残り四十株は自分の土地で購入済み（持ち分登記）との申し出があり、現在まで進めておりました。  
町と致しましては、再三にわたる、A氏に早急に分筆登記が行えるようお願いしてきました

● 質問 農業振興について  
● 答弁 町長  
誘殺灯は過去に多く発生しましたアオドウガネの防除には効果がありましたが、現在では機能している誘殺灯はありません。  
● 質問 誘殺灯の復興、復活は考えられないか  
● 答弁 町長  
誘殺灯については、修繕及び



質問する  
里村 忠弘 議員

● 質問 国民健康保険診療所の今後の見通しについて  
● 答弁 町長  
患者の反応は、予約制ということもあり、時間的余裕があることなどから、「症状を詳しく聞いてくれた」等の好意的な意見が、窓口にあったそうです。

● 質問 国民健康保険診療所の今後の見通しについて  
● 答弁 町長  
昨年七月から月四日間ですが、診療所を再開しました。徐々に来院される方は増え、現在は約六十名の方が通院されています。

● 質問 誘殺灯の復興、復活は考えられないか  
● 答弁 町長  
誘殺灯については、修繕及び

【答弁】 町長 「今後の見通し」については、まだ不確定であり、何とも申せませんが、利用する患者さんからは、「同じ医師に継続的に看てもらえる体制」を望む声が聞かれます。

平成二十八年度からは、紹介状なしで大病院を受診する場合、五千〜一万円の定額負担を義務化する健保法の改正が検討されており、「かかりつけ医」としての役割が果たせるように今後体制を整えたいと思います。



質問する 谷本 泰男 議員

### 質問 出産体制について

【質問】 喜界町は、高齢化率が三十五七%と高く人口減少率も高くなっています。直近三年間の出生数は、平成二十四年度四十七名、二十五年六十八名、二十六年度五十一名で年平均五十五三人です。今後喜界徳州会病院と協力して喜界島で出産できる体制は出来ないか。

【答弁】 町長 喜界徳州会病院での分娩再開については、病院の意向を確認

する必要があるですが、病院では現在のところ施設や設備の老朽化が激しく、また産婦人科医の確保も厳しい状況であり、分娩の再開は難しいとのことでした。また、分娩は昼夜を問わずあり、一人体制では厳しく、少なくとも二人の産科医を確保しなければ、再開しても維持は困難かと思われます。このような状況を踏まえ、町では平成十七年度より妊産婦家庭の経済的負担を軽減すべく、健診や出産時の旅費等の助成を行っております。

### 質問 国の出先機関について

【質問】 喜界島より三カ年後に法務局を閉鎖した徳之島・沖永良部島には役場の中に証明書の自動発券機がある。自動発券機があれば郵便による煩わしさや時間のむだや送料も入りません。本町も証明書の自動発券機を役場内に設置できないか

【答弁】 住民課長 鹿児島県地方務局喜界出張所は平成二十一年三月廃止されたところですが、登記事項証明書などの発行請求機の設置は、登記所適正配置の実施により廃止された市区町村に国が設置基準を設けて検討が行われます。国の設置基準によると、

## 喜界町議会の議員定数等に関する特別委員会を設置

平成二十四年度第三回定例会において、十一名の議員より議員発議で提出された左記の議員定数削減に関する決議案が議会通过しております。

記

本町では、町税をはじめとする自主財源の確保・充実と収支の均等を図りつつ、町民にとって必要な行政サービスの継続的な提供に努められている中、本町の取り巻く状況は町民要望の多様化・税・使用料などの収入の減少等により、依然として厳しさが続く財政状況、少子高齢化の進展、人口減少時代の到来など大きく変化してきています。町ではこのような状況の変化に的確に対応し、かつ、将来にわたって持続可能な行政運営を実現するため、行政サービスの民間委託、事業の簡素化・効率化・職員定数の適正化・学校再編など様々な行政改革に取り組んでいるところです。

一方、近隣市町村の議会においても、厳しい市町村財政の状況や民意の動向を反映し、議会の活性化・改革の一環として議員定数を見直す動きが広がり、議員定数も削減してきております。このような状況下において、本町議会では地方分権社会にふさわしいチェック機能としての機能を発揮しつつ、町民の信頼と付託に十分応え、的確に民意を反映できる議会づくりに向けて共に行政改革の一環として議員自らの判断で率先して議員定数を削減することをここに宣言する。

以上決議する。

平成二十四年九月七日  
鹿児島県喜界町議会 議長 中島智一

以上の決議により、左記の委員会を設置しました。

記

名称 議員定数等に関する特別委員会  
付議事件 本町における議員等に関する事項  
設置の期間 本特別委員会は、議会の閉会中も調査できるものとし、議会が本件調査終了を議決するまで継続して調査を行うものである。

平成二十七年三月二十日  
特別委員会 委員長 青山春男

①三年間の登記事項証明書等の年平均発行通数が二万通を超えていること。

②隣接登記所までの所用時間がおおむね三十分以上であること

【答弁】 町長 昨年十一月に、まち・ひと・しごと創生法が施行され、国は地方創生に関する計画的な方向、施策を、総合的かつ計画的に実施するために必要事項を定めた総合戦略を策定しています。本町においても、平成二十七年中に国の総合戦略を勘案した地方総合戦略を策定する予定です。

本町の過去三年間の年平均発行通数は、推計約四千二百通で、設置基準の発行通数を満たしていないこと、将来においても証明書発行機の設置経費を上回る手数料収入を得ることが見込めないことなどから、証明書発行請求機の設置は極めて厳しいといふことです。国は、これまで定期的な登記相談所の開設やインターネットによる「オンライン登記証明書交付請求」を導入しており、手数料でもオンライン申請の方が書面での請求より安くなっている負担軽減も図られるかと考えます。



質問する 生駒 弘 議員

### 質問 地方創生戦略の推進について

【質問】 まち・ひと・しごとを創生する戦略を立てるための人材の確保についてどのように考えているか

【答弁】 町長 地方創生総合戦略策定推進有識者会議を二十七年四月に設置する予定です。内部的には、喜界町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進委員会、その下部組織として課長補佐及び係長を中心とした幹事会、ワーキンググループを、本年二月に設置済みです。

【答弁】 町長 本年度補正がありました地方創生先行型の交付金を活用して、集落が主体となって移住者を受け入れるゲストハウスのモニターツアー事業や、子育て世代人間ドック費用助成事業、企業誘致に伴う人材育成事業等を計画し、現在、国に交付申請中です。地方創生戦略の推進については、人口減少、雇用創出、少子高齢化等、本町が直面する構造的な課題の解決に向け、官民共同で基本的な方向を定め、地域活性化に資する効果的な施策を実施していきたいと考えています。

## 人事

◆副町長の選任  
副町長 嶺 義久氏



任期は、平成27年4月1日から平成31年3月31日

◆教育委員会委員の選任  
教育委員会委員 作井 武俊氏



任期は、平成27年4月1日から平成29年9月24日

◆固定資産評価審査委員会委員の選任  
固定資産評価審査委員会委員 岩切 進一郎氏



任期は、平成27年4月1日から平成30年3月31日

## 意見書の審査結果

提出者	件名	審査結果
生駒 弘	ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書	採択
生駒 弘	へいスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書	採択
生駒 弘	農業の発展に必要な生産基盤整備の拡充を求める意見書	採択

公益に関わる意見書案が議員から提出され審議の結果、全会一致で可決され、関係行政庁に提出し、その実現を要請しました。

次回  
定例会

次の議会は、6月中旬を予定しています。

午前 9:30 皆様の傍聴をお待ちしています。

●お問い合わせ先 TEL 65-1115

### 平成27年度 入園・入学式



のぞみ幼稚園



喜界小学校



あゆみ幼稚園



早町小学校

### 表彰 おめでとうございます

鹿児島県町村議会議長会十五年表彰を受けました。



中島 智一 議長・里村 忠弘 議員・安田 英次郎 議員・乾 和夫 議員

### 諸般の報告

議長 中島 智一

◎ 広域事務組合の第一回定例会が開催され、市町村長、議長会共同議題であります、奄美群島広域事務組合、TIDAネシア基金特別会計、奄美パーク事業特別会計等の二十五年度決算及び二十七年予算について審議の結果承認されました。

◎ 鹿児島市北埠頭において、新造船フェリーきかの船内見学及びレセプションに参加しました。喜界町の生活路線であるフェリーきかいは、昭和五十四年に建造されて以来、三台目の新造船であります。総トン数二千五百五十一トン、航海速度十九・七ノット、旅客定員百六十九名、トラック十八台、乗用車十一台等を積載します。また、新しい装備を随所に設置し、バリアフリー対応、ストレッチャーごと入る大型エレベーターを設置、個室、授乳室、シャワールーム、ベットのルーム等、乗船者に優しい心遣いがなされ、利便性を向上するため運行ダイヤも分かりやすく変更することです。サンロイヤルホテルにおいて、レセプションが開催され、有村海運の社長、伊藤知事等の祝辞があり、川島町長の音頭のもと、祝杯を挙げ、盛大に盛り上げました。

◎ 奄美市において奄美群島議長会二月定期総会が開催され、二十五年度決算と二十七年事業並びに当初予算について審議され、原案のとおり可決されました。次に、本会役員の選任及び五十八回議員大会などについて、話し合いが持たれました。本会新役員選任については、新会長に瀬戸内町の安議長、副会長に大和村の宮田議長、伊仙町の琉議長に決まりました。二十七年の議員大会は、五月二十一日、和泊町で実施と決定しています。

### 議会のうごき (2月～5月)

- 2月27日 農業共済組合議会定例会 (奄美市) 谷本議員
- 2月27日 消防組合議会定例会 (奄美市) 外内議員
- 2月27日 介護一部事務組合議会定例会 (奄美市) 安田議員
- 3月22日 喜界高校卒業式
- 3月3日 フェリーきか就職レセプション (鹿児島市) 議長
- 3月5日 平成27年第一回定例会 (奄美市) 議長
- 3月6日 9・10日の3日間 予算審査特別委員会
- 3月12日 喜界中学校卒業式
- 3月13日 各常任委員会
- 3月16日 一般質問
- 3月19日 あゆみのぞみ幼稚園卒園式
- 3月20日 最終本会議
- 3月24日 喜界・早町小学校卒業式
- 4月6日 小中学校入学式
- 4月7日 喜界高校入学式
- 4月9日 あゆみのぞみ幼稚園入園式
- 4月9日 議長・事務局長合同会 (奄美市)
- 4月9日 新任教職員受入式
- 4月28日 県政説明会 (鹿児島市) 議長
- 5月14日 議員研修会 (鹿児島市) 全議員
- 5月21日 大島郡議員大会 (和泊町) 全議員
- 5月26日～27日 全国正副議長研修会 (東京) 議長